

## 事例 7

# ゲームコントローラの改造

### 1 相談内容

相談者は対象者の母親です。相談者から「対象者と兄と一緒にゲームできるようにならないだろうか。」と相談がありました。2人で対戦するのではなく、協力してできるように役割分担して対象者が「A」ボタンを押せるようにしたいとのことでした。そこでゲームコントローラに外部端子を付け、対象者が使いやすいスイッチを接続できるよう改造することにしました。

### 2 対象者プロフィール

7歳女児、身体障害者手帳1級です。脊髄性筋萎縮症(SMA)です。ベッド上で生活される時間が長く、移動の際はストレッチャー型の車いすを使用しています。家族と暮らしていません。

### 3 対応

コントローラの蓋を開け、「A」ボタン(緑色)に対応するプリント基板上の接点を探しました。「A」ボタンの構造は、それが押されるとボタン下にある接点付きシリコンゴムが変形して基板に触れて通電することでONになります。その接点に直接ハンダづけして線をつなぐと、シリコンゴムが変形してもゴム側の接点とプリント基板上の接点がうまく触れないので、接点から伸びているプリントパターンの一部へハンダづけして接続しました。ベッドからゲーム機までは距離があるので、外部端子には5mの延長線を付けました。なお外部端子には本人が押しやすいマイクロライトスイッチ(パシフィックサプライ株)をつなぎました。



改造後、外部端子と延長線の様子



マイクロライトスイッチ操作の様子

### 4 結果

相談者からは「対象者と兄と一緒にゲームをしている様子が微笑ましくて、うれしい。」という感想が寄せられました。

### 5 予算

400円程度